

事務事業実績測定調査

事務事業名称	にぎわい空間創出事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち								
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	集客力のあるイベントを主催できる団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	イベントを行うには、会場の確保や周知、備品の用意等が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な団体が本事業を通じて、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催し、多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				
事業概要	市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)		
	多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。	様々な団体が、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催する。	新規を含めた主催団体の募集及びニッペパーク岡東中央でのイベント開催において、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う		
指標設定	指標説明	来場者数	イベント開催回数	新規団体数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	単位	人	回	団体
		目標(見込み)	R2: 5,800, R3: 6,100, R4: 6,400, R5: 6,700	R2: 8, R3: 9, R4: 10, R5: 11	R2: 2, R3: 2, R4: 2, R5: 2
	達成度	141%	55%	200%	
	分析	新型コロナウイルス感染症対策を入念に行いながらイベントを実施した結果として賑わいが戻る兆しが見られた。	前年度よりもイベント開催回数は増加したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったイベントも見られた。	市のホームページ等の発信により、新たな主催団体にもニッペパーク岡東中央でのイベント開催について周知することができた。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	2,393	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	27	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,004	2,420	2,357		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	2,004	2,420	2,357		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,004	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	依然として新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったイベントもあった。その中でイベントを実施した団体の80%が「にぎわい空間創出事業」新規団体である。そのことから「にぎわい空間創出事業」の認知が拡大していると考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ対策をしっかりと講じたうえで、さらなる「賑わい創出」に向け引き続き支援していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称													文化観光協会補助事業												
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		観光交流課									
市長公約との関係		所信表明			市政運営方針			R2		R3			R4												
総合計画体系		基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち																				
		施策目標			18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち																				
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		市民サービス			特性			選択的事业			区分		一般事務事業												
事業期間		2006(H18)年度			年度		~						年度まで												
根拠法令等		決裁																							
関係補助金名称		文化観光協会活動補助金						サンセット		2021(R3)年度		-		2022(R4)年度											
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット			枚方文化観光協会																				
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題			枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源確保について、自立経営の促進に取り組んでいるものの、なお経済支援が必要である。																				
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながっている。																							
事業概要		枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。				枚方文化観光協会の経営状況が安定し、活発に事業実施される。				枚方文化観光協会の円滑な運営のための補助金を交付する。															
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)															
		指標説明		枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				枚方文化観光協会による事業実施件数				補助金交付件数													
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標													
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
		達成度		125%				100%				100%													
分析		実施イベントについては「また参加したい」という声が多く、満足度が高い。				概ね予定どおりに主催事業を行うことができた。				当補助金は、同協会事務局職員の人件費相当分となっている。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,009	80	79		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,009	80	79		
	物件費計	13,371	13,344	13,365	13,391	100%
	歳出計	17,380	13,424	13,444		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	17,380	13,344	13,365	13,391	

5. 総括的分析

総括的分析 補助金に依らない経営基盤の確立に向け、同協会の自立経営を促していく必要がある。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和4年度末をもって活動補助金を廃止し、補助金のあり方について見直しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														文化観光協会負担金交付事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		観光交流課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系				基本目標				4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち																			
				施策目標				18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち																			
				実行計画名																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		2006(H18)年度				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		枚方文化観光協会																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源が確保について、さらなる自立経営を促進していくことが求められる。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施している。																									
事業概要		枚方文化観光協会の業務を実施するため負担金を交付。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。				枚方文化観光協会の経営状況が安定する。				枚方文化観光協会の円滑な運営のための負担金を交付する。																	
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)																	
		枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				連結会計における自己資本比率【算出式:正味財産/総資産×100】				負担金が受取会費収入全体に占める割合【算出式:負担金交付額/受取会費収入全体×100】																	
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標															
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5												
		達成度		125%				102%				90%															
分析		実施イベントについては「また参加したい」という声が多く、満足度が高い。				自立的な経営に向け取り組む必要がある。				受取会費収入全体に占める本市会費の割合が高止まりしている。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,203	80	79		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,203	80	79		
	物件費計	3,000	3,000	3,000	3,000	100%
	歳出計	4,203	3,080	3,079		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	4,203	3,000	3,000	3,000	

5. 総括的分析

総括的分析 事業者等からの会費収入が増加できていないため、受取会費収入全体に占める本市負担金の比率が高止まりし、減少させられていない。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
----	------

今後の取組方針 令和4年度末をもって活動補助金を廃止する方向で調整を行うとともに、負担金についても見直しを検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	友好・交流都市物産展開催事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち											
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1984 (S59) 年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない市民。										
	サブターゲット	友好・交流都市物産展の開催を知らない市内外の方。										
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない。										
	ターゲットが抱える課題	友好・交流都市物産展の開催を知らない。										

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	友好・交流都市物産展開催が、市内外からの多数の来場者でにぎわう。また、本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加し、市民間交流のきっかけとなる。											
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	都市交流事業の一環として、毎年11月に友好都市(四万十市、別海町、名護市)や市民交流都市(伊達市、天川村、波佐見町)・旧友好都市で現在も地域間交流を継続している高松市(旧塩江町)及び枚方市の名産品を集めた物産展を開催する。											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
	市民に本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加する。	友好・交流都市物産展開催の幅広い情報発信により、市内外からの多数の来場者でにぎわう。					友好・交流都市物産展を開催する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
	指標説明	本市の友好・交流都市の認知度 【算出式:スマホアンケートにて認知していると回答した人数/アンケート回答者数×100】				友好・交流都市物産展の来場者数					広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNS、チラシ配布による情報発信の数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	実績	40	42	44	46	7,350	7,733	8,116	8,500	5	10	15	20	
達成度	50%				34%					80%				
分析	物産展への来場者やスマホアンケートにて、市内在住者に対し調査したもの。					販売する物産の種類が減少したことにより、入場者数に影響したものと考えられる。					2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止したが、3年度は感染対策を徹底の上実施を決定し、各種メディアで発信を行った。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,608	1,196	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,608	1,196	3,143		
	物件費計	279	0	48	75	64%
	歳出計	3,887	1,196	3,191		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	3,887	0	48	75	

5. 総括的分析

総括的分析	市民や事業者等の交流が十分に促進されておらず、友好・交流都市の認知度は目標の半分程度と低いことから、認知度の向上を図る必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	物産展開催期間中に限らず、年間を通し、友好都市の物産をPRし、認知度の向上を図る他、事業者との連携や委託化についても検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業	
事業期間	2002(H14)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称	まちづくり協議会補助金							サンセット	2019(R1)年度		-	2021(R3)年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方宿地区まちづくり協議会											
	サブターゲット		枚方宿地区の賑わいづくりや景観保全等のまちづくりに協力できる枚方宿地区内の地域住民											
	ターゲットが抱える課題		歴史を生かした町並みの景観形成の促進と地域の活性化に繋がる賑わいづくりに向けた活動にあたり、行政による支援を必要としている											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	歴史的な町並みが保たれているとともに、平日も観光客で賑わいを見せている。また、市民・事業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなっている状態。													
事業概要	歴史的な景観の保全整備には、市民の協力が不可欠であるとともに、地域の活性化にとっても、市との連携によるまちづくり活動が必要である。このため、地元自治会や商店会、関係団体により組織されたまちづくり協議会の活動を支援する。													

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	平日も観光客で賑わいを見せており、市民・事業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなる。	まちづくり協議会がイベント等を実施する。				まちづくり協議会補助金の交付により、枚方宿地区まちづくり協議会の活動を支援する。						
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	まちづくり協議会が実施したイベントへの来場者数				イベント件数				会議回数			
	単位 人				単位 件				単位 回			
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
指標数値	80,000	80,000	80,000	80,000	12	12	12	12	30	30	30	30
	45,000	32,500			3	4			49	30		
達成度	41%				33%				100%			
分析	新型コロナの影響により、開催回数が減少するとともに、イベント1回あたりの来場者数も減少した。				前年度よりはイベントを開催できたものの、新型コロナの影響により、開催中止となることが多かった。				市がオブザーバーとして参加し、適宜助言等を行っている。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,612	3,988	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	63	27	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,675	4,015	3,143		
	物件費計	1,503	786	831	1,000	83%
	歳出計	7,178	4,801	3,974		
歳入	国庫支出金	173	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	800	0	0	0	
		歳入計	973	0	0	0
	一般財源	6,205	786	831	1,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出等により、イベントについては開催中止の判断をとることが多かったが、令和2年度に中止していた「五六のあかり」を2年ぶりに開催するなど、枚方宿のにぎわいを絶やすことのないよう、協議会の活動を支援した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	枚方宿地区まちづくり協議会の更なる自立につながるよう、支援のあり方を検証する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	歴史的景観保全事業(観光交流課)										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2002(H14)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方宿を訪れた市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	案内看板等が破損している場合、枚方宿に訪れた際の観光情報が分かりにくいいため、十分に楽しむことができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方宿を訪れた方に観光の情報が目に届くよう、適正に維持管理された案内看板や石碑がある状態。				
事業概要	歴史文化を残す本市の枚方宿歴史的景観保全地区において、歴史的案内板・石碑等を設置・寄贈を受け維持管理する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						歴史的案内板・石碑等が適正に維持管理されている。				歴史的案内板・石碑等の点検を実施する。			
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				点検回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位					%				回			
	R2 R3 R4 R5					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値(見込み)実績					100以内 100以内 100以内 100以内				12 12 12 12			
達成度					0				3 4				
分析					枚方宿地区に所在する歴史的案内板・石碑等の修繕や補修工事はなかった。				「枚方宿くらわんか五六市」の開催に合わせ、適宜点検を行った。占用期限を迎えるものについては、更新を行った。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	1,603	1,595	1,571		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	1,603	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	歴史的案内板・石碑等について、点検回数は減少したが、予算執行の必要となる修繕等はなく、適切な管理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	枚方宿地区の歴史的案内板・石碑等に関わらず、枚方宿地区以外の案内板等についても、適正な維持管理が必要であることから、他の案内板等と合わせた維持管理を行うため、観光交流課運営事務と統合する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光まちづくり推進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	~	R5年度(2023)年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市を観光目的で訪問したことがない人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に関する情報を得られていない			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に魅力を感じていない(観光コンテンツ不足)。観光できるまちという認識がない。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信することにより、本市魅力が向上し、観光目的に本市へ多数の訪問者がある。				
事業概要	観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を行う 1. 観光基礎関連データの収集と効果測定 2. 観光ウェブサイトの構築と継続的な情報発信 3. 観光コンテンツの開発				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信する。				観光振興に向けて観光におけるニーズを定量的に把握するため、基礎データの収集及び分析、観光における情報発信を行う。			
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				観光関連SNS(文化観光協会SNS・ひらいろSNS)フォロワー数				ウェブサイト(市HP・文化観光協会HP)及びSNS(市SNS・文化観光協会SNS・ひらいろSNS)による観光関連情報発信の数			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	1,000	4,500	5,500	6,500	100	300	350	400
	実績	101,910	84,452			28,603	4,072			257	691		
達成度	83%				90%				230%				
分析	令和3年度統計書(令和2年度時点の数値)を引用しているためコロナの影響と考えられる。				R2実績は市SNSフォロワー数を含む積算としていたため指標の値に乖離がある。				見込より頻度の高い発信をしている。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,418	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,418	3,190	3,143		
	物件費計	3,054	4,066	34,334	62,410	55%
	歳出計	11,472	7,256	37,477		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	11,472	4,066	34,334	62,410	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度は、引き続き、観光フリーペーパー「ひらいろ」を発行するとともに、本来の事務事業の趣旨である観光コンテンツの開発に民間事業者との連携により取り組んだ。令和7年開催の万博に向けて、枚方市駅、枚方公園駅、枚方宿、淀川河川エリアを面で捉えた地域活性化に取り組む必要があると考えており、令和4年1月実施の回遊性の向上に向けた枚方観光協会主体による観光庁補助金を活用した実証実験イベントへの支援や、令和4年度当初に実施に向けた民間事業者主体のアクティビティイベントへの協力を行った。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	枚方に訪れたい観光まちづくりを推進するため、行政として、観光まちづくりのビジョンを示し様々なステークホルダーを巻き込んで、「楽しい」「おいしい」コンテンツを民間事業者とともに開発・事業化していくことが求められている。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	「七夕」発信事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない。知る機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市民が認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、「七夕」をキーワードに地域の団体や商業者によるイベントや事業が広く展開され、賑わいを見せている状態。				
事業概要	「七夕」に関するイベント開催や情報発信等を通年展開する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。	七夕イベントに市民が参加する。	「七夕」発信事業(七夕ジャンボ笹飾り)を実施する。
指標設定	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】	イベント参加者数	イベント件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 件
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	50 50 60 60	9,000 9,000 9,000 9,000	1 1 1 1
	達成度	0 86	0 600	0 1
	分析	172%	7%	100%
		枚方市内においては認知度が高いと言える。	来場者は学生やカップル・家族連れが多かった。	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、七夕を発信するイベントを実施した。
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。	七夕イベントに市民が参加する。	「七夕」発信事業(七夕出前講座)を実施する。
指標設定②	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】	イベント参加者数	イベント件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 件
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	50 50 60 60	300 300 300 300	10 10 10 10
	達成度	0 86	0 0	0 0
	分析	172%	0%	0%
		枚方市内においては認知度が高いと言える。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕婚活イベント)を実施する。			
指標設定③	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)	50	50	60	60	40	40	40	40	1	1	1	1
	実績	0	86			0	24			0	1		
	達成度	172%				60%				100%			
分析	枚方市内においては認知度が高いと言える。				事前・当日キャンセル8名で予定より参加者数は減少した。				新型コロナウイルス感染症の影響で1回のみの実施となった。				
ロジックモデル④		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(冬の「七夕」イベント)を実施する。			
指標設定④	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込)	50	50	60	60	3,000	3,000	3,000	3,000	1	1	1	1
	実績	0	86			0	0			0	0		
	達成度	172%				0%				0%			
分析	枚方市内においては認知度が高いと言える。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント実行委員会の開催もなく、実施しなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント実行委員会の開催もなく、実施しなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	3,988	3,929		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	27	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	4,015	3,929		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,414	4,015	3,929		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,414	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	決算額としては人件費のみであるが、より効果的に七夕を発信するための事業手法について検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、七夕伝説の魅力を活かした賑わい創出に向けた賑わい創出の取り組みをより一層ひろげていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														淀川舟運推進事業													
測定年度				2021 (R3) 年度				部		観光にぎわい部				課		観光交流課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち																							
		施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち																							
		実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性		選択的事业				区分		一般事務事業													
事業期間		2000 (H12) 年度				年度		~						年度まで													
根拠法令等		淀川舟運整備推進協議会規約																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		本市を訪れる観光客																							
		サブターゲット		淀川舟運及び枚方船着場について知らない市民																							
		ターゲットが抱える課題		本市の観光コンテンツが少ない																							
		ターゲットが抱える課題		淀川舟運及び枚方船着場について知らない。																							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		市民が淀川舟運について知識を深め誇りを持つとともに、舟運イベントが、より多くの観光客(インバウンド含む)が訪れる観光コンテンツとなる。																									
事業概要		淀川舟運整備推進協議会の幹事会、総会、勉強会を年に各1回開催する。 淀川舟運整備推進協議会として、国土交通省近畿地方整備局へ要望活動を行う。 舟運イベントについては、舟運事業者が行う春・秋の運航や、毎月第2日曜日に開催の「枚方宿くらわんか五六市」と同日に行われて定期運航のPR活動を支援している。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		市民が淀川舟運について認識し誇りを持つ。				舟運事業者が運航する舟運イベントに多数の人が参加する。				定期運航のPR活動を支援する。																	
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		指標説明		舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者のうち「価格に見合った価値がある」と答えた割合 【算出式: アンケートにて「価格に見合った価値がある」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数		広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNSによる情報発信の数																	
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
		目標 (見込み)		91		92		93		94		2,600		2,780		2,970		3,150									
		実績		93		81						541		652													
		達成度		88%				23%				73%															
分析		「価格に見合っている」76.7%、「もう少し料金を上げてよい」4.7%の合算。2年度に比して減少しており、渇水の影響により当初予定していたオープンデッキタイプの船で運航できなかったことなどが影響したものと思われる。				新型コロナウイルス感染症の影響により例年と比べ実施回数が大幅に減少した。				2年度と比べ発信の機会は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施回数が減少したことにより、目標が達成できなかった。																	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人員費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	2,791	2,750		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	2,791	2,750		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	6,414	2,791	2,750		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	6,414	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>2025年大阪・関西万博の開催に合わせ、会場となる夢洲と、淀川上流の伏見までをつなぐことを目的に、令和3年度に淀川大堰閘門整備工事が新規着手された。本市が会長市を務める淀川舟運整備推進協議会の設立当初からの要望事項でもあり、淀川舟運を活用した地域活性化の機運がこれまで以上に高まっている。定期運航が実現している八軒家浜～枚方以上に航路が広がることになり、船上体験の充実はもちろん、中継港となる枚方市としても、船を降りた先に魅力的なコンテンツが待ち受けている観光まちづくりを推進していく必要がある。以上のような課題認識から、令和3年度は、本事務事業として例年通りの要望活動や淀川舟運事業の後援に取り組んだほか、観光まちづくりの視点から、観光庁補助金事業を活用し観光協会主催で新たな舟運イベントを実施したほか、上流自治体との淀川を活用した連携推進、水辺の活性化に向けて取り組んだ。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>淀川舟運を核に枚方宿、淀川河川エリア、枚方市駅、枚方公園駅を面で捉えた活性化に取り組む必要があり、観光まちづくりの視点から淀川舟運に係る環境整備について淀川舟運整備推進協議会を通じて近畿地方整備局に対し政策提言を行っていく。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国内友好都市等交流促進事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標			19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名			19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	1974(S49)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		本市の国内友好都市及び市民交流都について知らない市民									
	サブターゲット		国内友好都市及び市民交流都市の市民等									
	ターゲットが抱える課題		本市の国内友好都市及び市民交流都市の文化等に対する理解が乏しい。									
	ターゲットが抱える課題		本市の文化等に対する理解が乏しい。									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題への気づきにつなげる。 本市の魅力他自治体に発信し、本市を訪れるきっかけを作る。											
事業概要	枚方市・別海町少年少女ふれあいの翼により、隔年で相互に中学生が訪問し交流。 別海町が実施する酪農青年と独身女性との交流事業「菊と緑の会」への協力。「別海町産業祭」への出店。 名護市で開催される「やんばる産業まつり」への出店や「名護さくらまつり」への出席。 その他、国内友好都市との各種周年事業の開催など。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題の再認識につながる。				国内友好都市等交流促進事業に多数の人が参加する。				国内友好都市等交流促進事業を実施する。			
指標設定	指標説明	交流事業に「満足した」と答えた参加者数の割合(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く) 【算出式:アンケートにて「満足した」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				交流事業の参加者数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)				交流事業の数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	15	15	15	15	2	3	3	3
	実績	0	100			0	8			0	1		
	達成度	125%				53%				33%			
分析	「少年少女ふれあいの翼」参加者へのアンケート調査を行った。				オンライン開催事業の参加者数。				新型コロナウイルス感染症「少年少女ふれあいの翼」についてオンライン開催に切り替えて開催した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,409	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	4,409	3,190	3,143		
	物件費計	1,172	160	579	2,340	25%
	歳出計	5,581	3,350	3,722		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	0	0	0	0
	一般財源	5,581	160	579	2,340	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた大半のイベントが中止となったが、「少年少女ふれあいの翼」については、オンラインで開催し、交流を行った。同事業への参加者へアンケートを行った結果、目標を達成することができている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、事業趣旨を踏まえ実施手法を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														市の花「桜」発信事業													
測定年度				2021(R3)年度				部		観光にぎわい部				課		観光交流課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち																							
		施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち																							
		実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用																							
1. 事務事業の概要																											
種類		市民サービス				特性				選択的事业				区分		一般事務事業											
事業期間		2006(H18)年度				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称		サンセット																									
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		枚方市の花が「桜」であることを知らない市民																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		いつどんな経緯で市の花「桜」となったか知らない。市の花が「桜」である事を知る機会がない。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		市の花「桜」の認知度が上がり、そのことが市民の郷土愛の醸成に繋がっているとともに、市内の桜スポットが市民で賑わっている状態。																									
事業概要		本市の花「桜」を市内外へ効果的・効率的に発信するため、市の花「桜」発信事業を実施。市内の桜を撮影し、写真共有アプリ等で投稿してもらう「枚方市桜フォトキャンペーン」を実施するとともに、桜に関するイベントや市内にある桜の名所14か所の開花情報を市ホームページなどで発信する。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
		市の花「桜」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				桜フォトキャンペーンに多くの方が参加される。				桜フォトキャンペーンが実施される。																	
指標設定		指標説明		市の花「桜」の認知度 【算出式:「市の花が桜であることを知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				桜フォトキャンペーンの参加者数				桜フォトキャンペーンの実施回数															
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5									
		目標(見込み)		60		65		70		75		200		300		400		500									
		実績		0		28.70						396		225													
		達成度		44%				75%				100%															
分析		令和3年度に実施した観光交流課主催事業でのアンケート結果。市の花「菊」などと比較すると低く、認知度向上を図る必要がある。				昨年度と比べ募集期間を10日ほど短くした影響を受けたものと思われる。				開催予定だったインスタグラム講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、写真の投稿は受け付けた。																	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,004	1,914	1,886		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	27	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,004	1,941	1,886		
	物件費計	241	26	204	300	68%
	歳出計	2,245	1,967	2,090		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,245	26	204	300	

5. 総括的分析

総括的分析	インスタグラム投稿数は目標を下回る結果となった。予定していたインスタグラム講習会は中止となった。また、市の花としての認知度が菊などと比べ依然低いため、認知度の向上を図る。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	桜フォトキャンペーンは引き続き投稿数増加を目指し、周知方法や投稿期間等を検討する。市の花「桜」を啓発クリアファイルを作成し、市内小学校や各種イベントで配布し、啓発する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民サービスセンター管理運営事業															
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち													
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理				特性				内部事務				区分		一般内部管理事務	
事業期間	1994(H6)年度				年度	~		年度まで								
根拠法令等	市民ふれあいセンター管理規則															
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		市民サービスセンターの利用者													
	サブターゲット															
	ターゲットが抱える課題		維持管理が適切になされないと、市民サービスセンターを快適に利用することが出来ない。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民サービスセンターが、適切な維持管理により、快適に利用することが出来る状態。															
事業概要	市民サービスセンターは、枚方市駅高架化に伴う公共スペースとして、京阪流通システムズより無償で提供を受けているが、施設の維持管理経費として、共益費・設備保安委託料・電気料金・水道料金を京阪流通システムズに支出している。この他、空調機器の修繕などを実施。なお、清掃については平成30年度から入札による委託で行っている。 対象面積:630.76㎡															

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市民サービスセンターが適切に維持管理される。				設備点検を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				設備点検の件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					70	70	70	70	11	11	11	11
	実績					0	0			11	11		
	達成度					200%				100%			
分析					修繕に係る予算執行はなく、適切に維持管理されている。				事業者により適切な設備点検が実施された。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,806	1,196	1,179		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,806	1,196	1,179		
	物件費計	14,879	14,762	14,570	16,143	90%
	歳出計	17,685	15,958	15,749		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	17,685	14,762	14,570	16,143	

5. 総括的分析

総括的分析 予算執行の必要がある修繕等はなく、適切な施設維持管理ができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、施設の適切な維持管理に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														枚方市駅観光拠点事業													
測定年度				2021(R3)年度				部				観光にぎわい部				課				観光交流課							
市長公約との関係				所信表明				市政運営方針				R2				R3				R4							
総合計画体系				基本目標				4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち																			
				施策目標				19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち																			
				実行計画名				19-1.歴史的資源等の保存と活用																			
1. 事務事業の概要																											
種類				市民サービス				特性				選択的事业				区分				一般事務事業							
事業期間				2006(H18)年度				年度				~								年度まで							
根拠法令等				決裁																							
関係補助金名称														サンセット													
関係附属機関名称																											
事業対象				メインターゲット				ひらかた観光ステーションを知らない観光客																			
				サブターゲット																							
				ターゲットが抱える課題				ひらかた観光ステーションを知らないため、必要な観光情報を得られない。																			
				ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)				観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得て本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。																							
事業概要				<p>ひらかた観光ステーションを観光拠点として位置づけ、市民や観光客へ幅広いサービスを提供する。</p> <p>(1) 市政や文化情報、観光案内業務(市内の観光資源に関する情報)、その他多様な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションにて、電話・窓口対応・施設全体の案内 ・観光パンフレット等による紹介案内 ・所内と入口に設置のディスプレイモニターによる情報発信 <p>(2) 市及び友好都市・市民交流都市の紹介、物産販売等</p> <p>(3) その他必要な事項</p>																							
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。				観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得る。				ひらかた観光ステーションを運営する。															
指標設定				アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
				定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の1日当たり乗降客数				ひらかた観光ステーション来場者数				一年度当たりの開業日数															
				単位				単位				単位															
				人				人				日															
指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5															
日標(見込み)				101,000 102,000 103,000 104,000				52,000 53,000 54,000 55,000				358 358 358 358															
実績				101,910 84,452				24,528 28,043				228 303															
達成度				83%				53%				85%															
分析				令和3年度統計書(令和2年度時点の数値)を引用しているため新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響による休所が令和2年度より減少し、また観光の復活の機運が高まったことから、増加したと考えられる。				新型コロナウイルス感染症の影響による休所が令和2年度より減少したため、開業日数が増加した。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計	8,619	8,979	8,278	8,941	93%
	歳出計	10,222	10,574	9,849		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	10,222	8,979	8,278	8,941	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度のひらかた観光ステーションは依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、前年度よりも休所日数が減少し、来場者が増加した。
 しかしながら、アウトプット(来場者数)などの指標は目標値を大幅に下回っているため、来場を促す取り組み等を根本的に見直す必要がある。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	ひらかた観光ステーションは、令和4年10月末をもって現在の枚方市駅市民サービスセンターを退去し、他の場所に移転する必要がある。それに合わせ今後の業務内容について枚方文化観光協会と協議の上、見直しを行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方フェスティバル協議会支援事業(補)														
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用												
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性			選択的事业			区分			一般事務事業		
事業期間	1976(S51)年度				年度	~							年度まで		
根拠法令等	決裁														
関係補助金名称	枚方フェスティバル協議会主催事業等実施補助金							サンセット	2020(R2)年度		-	2022(R4)年度			
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		市内の様々なイベントに参加したい人や参加したことのない人												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		市内外の方が興味のある市内のイベントが少ない。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	フェスティバル協議会が支援する枚方まつりや各種イベント等を通じて、枚方の魅力が広く発信され、市内外から多くの方が訪れ賑わいを見せている。また、こうしたイベントが市民の郷土愛の醸成に繋がっている状態。														
事業概要	枚方まつりの実施・各種イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に補助金を交付し、各イベントを支援する。														

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	市民の郷土愛の醸成に繋がる。				枚方まつりや各種イベント等が開催され、市内外から多くの方が訪れる。				枚方フェスティバル協議会に参画している団体が主催するイベントを支援する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	枚方に愛着を抱いている市民の割合 【算出式:アンケートで枚方市に愛着を感じると答えた人数/アンケート回答者数×100】				来場者数				イベント件数				
	単位				単位				単位				
	%				人				件				
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	90	90	90	90	140,000	140,000	140,000	140,000	11	11	11	11
実績	0	97			8,500	9,900			4	5			
達成度	108%				7%				45%				
分析	指標の算出は、イベント時にとったアンケート結果によるものであり、イベントに来場する人が枚方に愛着を感じている割合は非常に高い。				「枚方まつり」がオンライン開催となるなど、集客力のあるイベントが現地開催できなかったことが減少の原因である。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントが多かった。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	2,393	2,357		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	2,393	2,357		
	物件費計	5,500	1,458	5,205	5,500	95%
	歳出計	11,914	3,851	7,562		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	11,914	1,458	5,205	5,500	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止されたイベントが多かったが、実施できたイベントに対しては、許認可手続きなどの支援を行った。イベントの参加者は、枚方市への愛着を感じている人が多く、アウトカムは高い。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	構成団体のさらなる自由度を高め、より主体的な活動につなげるため、新たな取り組みや実施手法等について協議を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市の花「菊」発信事業													
測定年度	2021 (R3) 年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標			19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名			19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2006 (H18) 年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称	枚方宿街道菊花祭補助金						サンセット	2020 (R2) 年度		~	2022 (R4) 年度	
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	ひらかた菊フェスティバルを知らない市民。枚方市の花が「菊」であることを知らない市民										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	ひらかた菊フェスティバルや市の花が「菊」である事を知る機会がない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「ひらかた菊フェスティバル」に市内外から多くの来場客が来る。また、市民が市の花が「菊」であることを認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている状態。											
事業概要	「ひらかた菊花展」への企画及び「枚方宿街道菊花祭」、「市民菊人形展」への支援、「ひらかた菊フェスティバル関連イベント」の企画団体募集を行うとともに、市の花「菊」の総合的な発信を図るため、これらのイベントを総称した「ひらかた菊フェスティバル」として開催する。また、同フェスティバルに「ひらかたパーク」が実施する菊人形の展示等も合わせ、チラシ・ポスターを作成するとともに、広報ひらかた・市ホームページ、SNS等でイベント情報を掲載するなど、各イベントの発信を行う。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市の花「菊」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				アウトプット (活動結果)	「菊フェスティバル」が開催される。				インプット (活動)	市の花「菊」発信事業を実施する。			
	指標説明	市の花「菊」の認知度 【算出式:「市の花が菊であることを知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				来場者数	イベント件数								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	45,000	45,000	45,000	45,000	1	1	1	1		
	実績	0	80			25,000	28,468			1	1				
	達成度	100%				63%				100%					
分析	市の花が「菊」であることが広く認知されている。				昨年度よりは増加したものの、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各イベントにおいて、事業の一部を中止した影響を受けたものと思われる。				「ひらかた菊花展」・「枚方宿街道菊花祭」・「市民菊人形展」のイベントについて、開催時期を調整の上、期間を揃えて開催した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,405	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,405	3,190	3,143		
	物件費計	267	238	139	280	50%
	歳出計	2,672	3,428	3,282		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,672	238	139	280	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部事業の縮小があったものの、各主催者がイベントの実施を決めたため、パンフレット・ポスターを作成するとともに広報ひらかたやホームページ等で各イベントの発信を行い、「菊」の認知度については目標を達成した。また、より幅広い年代への周知に向けて、公民連携プラットフォームへの登録を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行いつつ、各種イベントの情報を共有化するとともに、市の花「菊」の認知度向上と郷土愛の醸成に向けて、総合的な発信を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	菊人形支援事業(補)													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標			19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名			19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	2006(H18)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称	菊人形事業実施補助金							サンセット	2020(R2)年度		-	2022(R4)年度	
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット			菊人形の文化を知らない市民または市外の人									
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題			菊人形の文化を知る機会がない。菊人形を見たことがない。展示時期や場所を知らない。									
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識され、また、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、多くの来場客で賑わっている状態。												
事業概要	菊人形に関する文化の普及を図るため、菊人形を制作し、発信するひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識される。				「市民菊人形展」が開催される。				ひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。			
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
		菊人形文化の認知度 【算出式:「菊人形文化を知っている」と回答した人数/回答者人数×100】				来場者数(菊花展含む)				展示回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)		60	60	60	60	3,000	16,500	16,500	16,500	4	4	4	4
実績		0	84.50			17,000	20,344			7	4		
達成度		141%				123%				100%			
分析		令和3年度に観光交流課で実施した事業で行ったアンケート結果。認知度は目標値を上回っている。				同じ会場で開催しているひらかた菊花展との合計来場者数を計測したため、来場者は増加している。				新型コロナの影響を受け、会の活動を休止した期間があったことから、展示回数が減少したものの。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,405	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,405	3,190	3,143		
	物件費計	1,055	1,159	1,128	2,897	39%
	歳出計	3,460	4,349	4,271		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,460	1,159	1,128	2,897	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナの影響を受け、会の活動を休止した期間が多かったことから、昨年と比べ展示回数は減少したものの、10月から11月にかけて開催される「ひらかた菊フェスティバル」での「ひらかた市民菊人形展」をはじめ、年間を通じて衣装人形等を枚方市駅や市関連施設などで展示することにより、菊人形の文化や歴史の発信に寄与した。一方で、会員の固定化・高齢化などの課題が顕在化しつつある。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	菊人形に関する文化の振興を図るため、引き続き、ひらかた菊人形の会に対して支援を行うとともに、会の活動が持続できる方策について検討し、情報発信や後継者等の課題解決に向けて助言を行う。また、補助金の精査も行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国際交流推進事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		国際化施策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	R3(2021)		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	国際交流に関心がある市民
	サブターゲット	外国人市民
	ターゲットが抱える課題	外国語の学習、外国人との交流の機会が得られにくい。
	ターゲットが抱える課題	日本語の学習環境や、通訳派遣などの生活全般のサポート体制が少なく不安。言語の不自由さにより、仕事、医療や各種社会保険制度の利用、出産や子育て、子どもの教育など、日本での生活に支障がでる。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市との交流推進ができている状態 国際化社会に対応できる人材の育成ができている状態
---------------------------	--

事業概要	<p>国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民の国際交流活動の支援・促進業務 <ul style="list-style-type: none"> 日本語ボランティア養成講座・ステップアップ講座 通訳・翻訳サポーター 海外友好都市交流業務 <ul style="list-style-type: none"> 上海市長寧区との市民訪問団の派遣及び受入 ローガン市との中学生友好交流訪問団派遣・チゾム・カソリック・カレッジ生受け入れ 韓国霊岩郡との友好交流 国際理解推進業務 <ul style="list-style-type: none"> 国際理解に関する講座等 在住外国人交流業務 <ul style="list-style-type: none"> 日本語教室 外国人のための1日相談会
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民の国際化に係る理解が深まる。	多数の人が講座に参加する。	日本語ボランティアステップアップ講座、日本語ボランティア養成講座等を開催する。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】	講座への延べ参加人数	講座等の開催回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: - R3: 80 R4: 80 R5: 80	R2: - R3: 80 R4: 80 R5: 80	R2: - R3: 13 R4: 13 R5: 13
	実績	- 97	- 91	- 13

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民の国際化に係る理解が深まる。	通訳・翻訳サポーターに依頼する。	通訳・翻訳サポーターを登録する。

指標設定②	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】	通訳・翻訳の依頼件数	通訳・翻訳サポーターの人数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 件	単位: 人
	目標(見込み)	R2: - R3: 80 R4: 80 R5: 80	R2: - R3: 132 R4: 132 R5: 132	R2: - R3: 27 R4: 27 R5: 27
	実績	- 97	- 162	- 27

達成度	121%	114%	100%
分析	日本語ボランティア養成講座・同ステップアップ講座の参加者に対して行ったアンケートの結果、目標を越えた。	定員を超える申し込みがあり、定員増の上、抽選を行なった。	新型コロナウイルス感染症対策を施し、休止は行わなかった。

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民の国際化に係る理解が深まる。				市民訪問団や中学生などが各事業に参加する。				海外友好都市との交流事業(派遣・受け入れ)を実施する。			
指標設定③	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】				市民対象の友好都市関連事業の参加者数 ・ローガン市中学生友好交流参加者 ・長寧区市民訪問団参加者 ※隔年開催事業				交流事業の実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	80	80	80	-	20	16	20	-	3	3	3
	実績	-	97			-	0			-	0		
	達成度	121%				0%				0%			
分析	日本語ボランティア養成講座・同ステップアップ講座の参加者に対して行ったアンケートの結果、目標を越えた。				新型コロナの影響により、中止した。				新型コロナの影響により、中止した。				
ロジックモデル④		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の人々が教室・講座等に参加する。				国際理解に関する教室・講座等を開催する。			
指標設定④	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】				各教室・講座等への参加人数				教室・講座等の開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	80	80	80	-	70	70	70	-	3	3	3
	実績	-	97			-	47			-	3		
	達成度	121%				67%				100%			
分析	日本語ボランティア養成講座・同ステップアップ講座の参加者に対して行ったアンケートの結果、目標を越えた。				新型コロナのため、参加人数を減らして実施した。				料理教室(中国、ベトナム)、講演会を開催。				
ロジックモデル⑤		市民の国際化に係る理解が深まる。				活動団体による日本語教室が開催され、外国人市民とボランティアが交流する。				日本語教室の活動団体へ活動場所の提供を行う。			
指標設定⑤	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】				外国人市民とボランティアの人数				活動場所等の支援回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	80	80	80	-	200	200	200	-	1	1	1
	実績	-	97			-	137			-	1		
	達成度	121%				69%				100%			
分析	日本語ボランティア養成講座・同ステップアップ講座の参加者に対して行ったアンケートの結果、目標を越えた。				新型コロナのため、休会期間があったため減少となった。				サンブラザ生涯学習市民センター内の、国際交流推進ルームを提供。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の外国人が各相談会等に参加する。				外国人を対象とした相談会等を開催する。			
指標設定⑥	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度 【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/ アンケート回答者人数×100】				各相談会等への参加人数				相談会等の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	7	7	7	-	1	1	1
	実績	-	97			-	4			-	1		
	達成度	121%				57%				100%			
分析	日本語ボランティア養成講座・同ステップアップ講座の参加者に対して行ったアンケートの結果、目標を越えた。				周知の期間が短くなったことが、未達成の要因であると思われる。				(公財)大阪府国際交流財団と連携し、開催した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.82
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	1,979		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	5,122		
	物件費計	—	—	1,345	2,613	51%
	歳出計	—	—	6,467		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	295	238	
	歳入計	—	—	295	238	
	一般財源	—	—	1,050	2,375	

5. 総括的分析

総括的分析	国際理解事業参加者の、国際交流への理解度が深まったと回答された割合は高いものの、相談会での相談件数は、目標としていた件数を下回った。また、日本語教室参加者及び国際理解に関する講座・教室については新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休会したり定員を減らしたりことによって目標としていた件数を下回った。相談会についてはさらに長い周知期間を設けられるよう、実施スケジュールを見直す必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、事業趣旨を踏まえ新たな実施手法を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	「マルシェ・ひらかた」開催事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业		区分	一般事務事業					
事業期間	2010(H22)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	市内の農業・商工業の事業者										
	サブターゲット	市民・市外の人										
	ターゲットが抱える課題	事業者間で連携するための情報・きっかけが少ない。										
	ターゲットが抱える課題	市内産業の魅力を知らない										

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農業・商工業等各分野間の連携を通じて、枚方特産品の普及やコラボレーション事業が展開されている。それにより市内産業を市内外に発信することができ、魅力が認知されている状態。											
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	市内の商業、工業、農業、観光の団体と連携したまちなか市「マルシェ・ひらかた」を枚方市駅周辺で開催する。また、参加事業者の異業種間交流による新たな枚方産品の創出の可能性を探る。事業の実施主体である「マルシェ・ひらかた実行委員会」(構成団体/枚方市商業連盟、枚方市農業研究会、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方文化観光協会、枚方市)のもとで、市内の農業・商工業等の各関係者等から構成されるチームが中心となり、各分野間の連携を通じて枚方特産品の開発事業やコラボレーション事業を展開する。そこで展開されたものを展示会やイベント等で周知・プロモーションを行うことで、市内産業の魅力を広く市内外へ発信するとともに、枚方特産品により本市の産業の活性化を図る。 負担金として、北河内農業協同組合、北大阪商工会議所、枚方市が支出。											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市内産業の魅力が広く市内外に発信され、産業が活性化される。				アウトプット (活動結果)	展開された事業について、展示会やイベントなどにおいて周知・プロモーションを行うことができる。				インプット (活動)	枚方特産品の開発や連携事業を展開する。			
	指標説明	継続して販売(商品化)している特産品の件数				出展する展示会またはイベント数				枚方特産品の開発数または連携事業数(累積)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	3	1	3	6	6,000	1	2	3	1	1	2	3		
	実績	0	0			0	0			0	0				
	達成度	0%				0%				0%					
分析	米粉を活用した特産品開発のアイデアがあったが、商品開発に至らなかった。				同左				同左						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調査の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	3,988	786		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	188	27	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,602	4,015	786		
	物件費計	1,026	0	0	300	—
	歳出計	7,628	4,015	786		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	7,628	0	0	300	

5. 総括的分析

イベント開催を主としてきた令和元年度までのやり方を見直し、令和2年度途中から本来の目的である各分野連携による特産品開発による産業活性化を事業趣旨としたが構成員関連の農産物を素材に設定し開発着手に至らなかった。特産品開発においては、熱意を持ったキーマン、特産品開発のストーリーを含めたプロモーションノウハウ、継続的な販路確保等が必須であり、現在の枠組みから再構成が必要である。また、2025年大阪・関西万博を見据えて、観光まちづくりによる地域経済活性化を図ろうとしている現況を踏まえ、観光振興の観点からの特産品開発に向け、事業自体の捉え直しが求められる。

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	マルシェひらかたとしての枠組みは解体する。別途、観光まちづくりにおいて、枚方に訪れたいくなる動機としての「楽しい」「おいしい」コンテンツを生み出すことを目的とした特産品開発を民間事業者の参画の下、推進する体制を構築する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光開発・発信事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	観光にぎわい部				課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標			21.地域産業が活発に展開されるまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	2017(H29)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	枚方市や、枚方市・交野市共通の地域資源があることを知らない人／沿川の地域資源を活用したいと考えている市内事業者や個人等										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	本市における魅力的な名物が少なく、開発するにあたっての体制が確立されていない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化している。											
事業概要	本市には、枚方八景をはじめ様々な地域資源があり、中には天野川など交野市と共通の資源が存在する。平成27年度には「天の川ツーリズム」として、交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携して両市をPRする取り組みを行ってきた。同時に「ふるさと名物応援宣言」を共同で行うなどの取り組みを行った。さらに両市の魅力の発信だけでなく、両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品の開発にも取り組む。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化される。				アウトプット (活動結果)	両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品が開発される。				インプット (活動)	負担金を交付する。			
	指標説明	枚方市独自、あるいは両市の名物や観光資源の認知度 【算出式:スマホアンケートにて「枚方市独自あるいは枚方・交野両市の名物や観光資源について知っている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				指標種類	増加することが良いとされる指標				指標種類	増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				指標種類	増加することが良いとされる指標				指標種類	増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	日標(見込み)	50	50	50	50	1	1	1	1	1	1	1	1		
	実績	0	67.10			1	0			1	1				
達成度	0%				0%				100%						
分析	名物開発を行うとともに、さらなる認知度の向上を図る必要がある。				名物の開発に至らなかったが、天の川を中心とする観光ガイドマップ「カタカタおさんぽ magazine」をの第2弾を新たに発行した。				負担金を全額支出した。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	4,714		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	1,603	1,595	4,714		
	物件費計	1,400	1,000	1,000	1,000	100%
	歳出計	3,003	1,595	5,714		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	3,003	1,000	1,000	1,000	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方・交野の両市の名物、観光資源となる新商品については、「天野川セイタカヨシ」のみではなく、両市で新たな取り組みについて検討する必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	両市に共通する資源を活用した新たな取り組みを検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	観光交流課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										
1. 事務事業の概要											
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで		
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット		課職員								
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。										
事業概要	課の運営業務(部取りまとめなど総務担当課事務、都市競艇関係事務、国際化施策関係事務など)										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.39
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,848	8,693	9,743		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	140	971	936		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	22,988	9,664	10,679		
	物件費計	761	420	2,384	7,699	31%
	歳出計	23,749	10,084	13,063		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	23,749	420	2,384	7,699	

5. 総括的分析

総括的分析	国際化施策関係事務については、令和3年度より国際交流推進事業に統合した。課の一般事務、総務担当課としての事務のほか、都市競艇関係事務を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き課の運営が円滑に行われるよう、事務の省力化を進める。枚方宿地区の案内板等の維持管理業務である「歴史的景観保全事業」について、当事務と統合する。